
XMLを使用した財務諸表電子開示システム国際標準規約作成団体の

XBRL Japan とXML コンソーシアム 協業で合意

財務情報の電子開示標準化を推進する、XBRL Japan (エックス・ビー・アール・エル・ジャパン、会長：金井 浄公認会計士) と XML コンソーシアム (会長：鶴保 征城 NTT ソフトウェア株式会社 代表取締役社長) は、このほど、XBRL(eXtensible Business Reporting Language)の普及啓蒙活動支援について協業することで合意しました。

インターネットの急速な進展のなかで、現在の XML 技術の最新の成果 (XML Schema 等) に基づくビジネス・データ記述言語である XBRL 形式による財務情報の電子開示標準化の動きが加速しています。米国の銀行の監督機関である FDIC (The Federal Deposit Insurance Corporation) や米銀、オーストラリアの銀行・保険業界の監督機関である APRA (Australian Prudential Regulation Authority)、ヨーロッパを中心とする国際信用保険協会 (ICIA, International Credit Insurance Association) など海外の金融監督機関及び金融機関が相次いで XBRL の採用を決めており、わが国の対応が注目されています。

わが国で XBRL が普及するかどうかは、公的機関による採用、企業による受入れ、ソフトウェア会社による XBRL の対応など多くの要因に依存しますが、取り組みの第一歩が告知・普及啓蒙活動であります。

そこで、今般、XML の普及・啓蒙を総合的に推進する XML コンソーシアムが、XBRL Japan の普及啓蒙活動を支援することで合意しました。具体的な支援内容は以下の通りです。

- (1) XBRL Japan 主催シンポジウム・セミナーの協賛
- (2) XML コンソーシアムが開催するセミナー等における XBRL の紹介
- (3) 普及活動上、重要な公的機関・団体・企業のコンタクト先の紹介
- (4) XML コンソーシアム活動へのオブザーバーの派遣 等

なお、XML コンソーシアムは、本年4月のXBRL Japan 設立時の発起人であり、今後はXBRL Japan のアライアンス・パートナー (協賛会員) として位置づけられます。

また、今般、XML コンソーシアムは、協業第一弾として、12月14日(金)に、「第2回シンポジウム」(XBRL Japan と日本公認会計士協会との共催 於：公認会計士会館)に協賛します。

XBRL Japan について

XBRL は、米国公認会計士協会(AICPA)が中心となって設立された団体で、財務諸表を中心とするビジネスレポートをインターネット経由で提供するための情報形式を定義しています。国際会計基準審議会(IASB)、国際会計士連盟(IFAC)も参加しており、現在、XBRL の普及に向けた取り組みは 17 カ国に及びます。

わが国では、日本公認会計士協会が中心となり、XBRL Japan を本年4月に設立しました。現在、4大監査法人をはじめ、2団体27企業(2001年11月27日現在)が参加しています。

XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、国内212社(2001年11月13日現在)の会員を擁するXML技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、海外との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおけるXML技術の適用に貢献してまいります。

<お問合せ先>

XBRL Japan 広報担当 田中 ((社)情報サービス産業協会)

TEL. 03-5500-2612

E-Mail. ttanaka@jisa.or.jp

URL. <http://www.xbrljapan.org/>

XML コンソーシアム事務局 田中 (富士ソフト ABC 内)

TEL. 03-5600-6205

E-mail. xmlcons@fsi.co.jp

URL <http://www.xmlconsortium.org/>